

## 平成30年度 学校図書館研修

日 時： 平成30年7月25日（水）  
会 場： 大阪府立阿倍野高等学校 図書館  
参加者： 国立1 府立23 私学10  
内 容： 「図書館オリエンテーションについて」

### <報 告>

#### 「図書館オリエンテーションについて」

講師：大阪府立寝屋川高等学校 高瀬由佳（大阪府高等学校図書館研究会役員）

- ◎生徒に学校図書館の役割を紹介するとともに、学校図書館が読書の楽しさを知る場であり、必要な情報を収集できる場であることを伝える「図書館オリエンテーション」。しかし、熱心に説明しても「図書館に来たことがない」という生徒たちもいる。図書館に足を運んでもらうために、どんなことができるかについて考えた。
- ◎前半は、寝屋川高校の新生対象図書館オリエンテーションの実践発表を聞き、具体的な新生の図書館オリエンテーションの実演を行った。
- ◎後半は、グループ討議を行った。それぞれの学校の図書館オリエンテーション資料を持ち寄り、時間や場所はどのように確保しているのか、何を話したらいいのか、効果的なオリエンテーションの技などについて話し合った。

### （1）寝屋川高校の実践

#### 1. 大阪府立寝屋川高校の概要

生徒数 1156人

クラス数 29クラス

蔵書数 約28000冊

\*全日制と定時制のある普通科の学校。全日制の生徒は18時に完全下校。

創立108年の進学校。校舎も古く、図書館は小さい。

#### 2. 新生オリエンテーションの設定

4月から5月にかけて、HRの時間を使って実施。図書館オリエンテーションにあてられているHRの時間には1クラスしか実施できないが、他のクラスは担任の授業を行っていて、その前後の担任の授業時間でオリエンテーションを行う。

#### 3. 内容

前半は、利用時間や貸出・返却、予約、資料の検索方法など、基本的な利用方法を説明した後、読書についての講話を行う。後半は、好きな本を選んで貸出の手続きを体験し、空いた時間はクイズ式のゲームを行っている。クイズの答えがわからない時にはヒントの本を探してもらう。答えがすぐわかるものもあり、ヒントの本は必要ない場合もある。

高校生活の中でいろんな分野の本を読んでもらうきっかけとして、「読書チャレンジビン

ゴ」を準備。読書記録をつけてもらい、読んだ分野（NDCの類）にハンコを押し、1ビンゴ、3ビンゴ、コンプリートをねらうものである。

#### 4. 実践

基本的な利用方法の説明部分を実演する。



#### 5. 新入生オリエンテーションを行うにあたって考えたこと

- ・図書館の居心地が悪くならないこと。
- ・オリエンテーションの時間が退屈にならないこと。
- ・オリエンテーションで行うゲームがこれからの図書館利用に役に立つこと。

#### 6. 今後に向けて

本が読みたいときや課題があったとき以外でも、「そうだ！図書館に行こう」と思われるような図書館活動を行いたいと思う。オリエンテーションは入り口なので、それに続く図書館活動を展開できるように展示やイベントを作っていきたいと思う。

### (2) グループ討議

1グループは3～4名。机に模造紙1／2サイズの用紙とマジックを置き、テーマの用紙を配布する。4つあるテーマの中から好きなものをそれぞれのグループで選択する。20分の話し合いを2回行った。すべてのテーマを話し合ったグループもあれば、1つのテーマに絞って話し合ったグループもあった。最後にそれぞれのグループの討議内容を発表してもらった。



#### <討議のテーマ>

- ①オリエンテーションの時間を確保できない
- ②生徒が聞いてくれない
- ③どのように進めればいいのかわからない
- ④効果的なオリエンテーションがしたい

### (3) 研修「大阪高図研交流サイト～Ponte～ をまだお使いでない方」(希望者)

講師：大阪府立阿倍野高等学校 木田誠（大阪府高等学校図書館研究会役員）

「大阪高図研交流サイト～Ponte～」がうまく使えない、見られないという意見もよく聞くので、阿倍野高校図書館にあるコンピュータを使い、操作手順の講習を希望者に行った。

### (4) 阿倍野高校の図書館見学

#### <感想より>

○寝屋川高校の実践について、アドバイスやダメ出しなど、感想をご自由にお書きください。

- ・ 図書を探す班とゲームの答えを探す班とに分かれるのは効率よく生徒に動いてもらえてよかったですと思います。とても参考になりました。
- ・ 本校は一方的に説明の後、好きな本を借りてもらっていましたが、ゲームでの本の説明は楽しんで図書にふれることができると思い、新鮮でした。
- ・ クイズ形式のゲームで、ゲームを解きながら、様々なジャンルの図書に出会えるようになっていて、時間があれば導入したいと思いました。
- ・ 生徒をあきさせないため、ゲームを取り入れているのが新しい視点だと感じました。前に貼りつけた答えの紙がものによっては小さくて、読みづらかったのが残念でした。
- ・ 読書チャレンジビンゴはとてもおもしろい発想だと感じました。本をあまり読まない生徒や、本の分類にかたよりのある生徒にも、いろいろな分野を読んでみようという意欲が高まると感じました。
- ・ 『そうだ！図書館へ行こう!!』に、図書館の自由に関する宣言が載っているのに感動した！これは帰って実践したいと思う。
- ・ 予約の用紙に、どこで本を知ったのか、目的についての項目があり、参考にさせて頂きたいと思いました。本を読みたい目的が知れて良いと感じました。クイズ形式のゲームは図書室の本の位置なども自然に覚えられて、生徒も楽しめるものになっており、素晴らしいアイデアだと思います。テーマを決めて、いろいろな切り口から情報を集めることを教えるためと伺い、よく考えられていると感動しました。
- ・ 進学校ならではの高度な内容で感心しました。
- ・ オリエンテーションでは生徒を座らせて説明をするというイメージでしたが、今日のお話を聞いて、生徒が参加したり、本に触ってもらうという手法があるのだと知ることができました。

○研修全体について感想をご自由にお書きください。

- ・ グループ討議では、選書の方法や貸出冊数アップのための工夫など、各校のやり方や工夫で盛り上がりました。同じ仕事をしているので、同じような悩みを持ちながらそれぞれ工

夫されていて勉強になりました。

- 誰にも相談できず、一人で悶々と作業していたので、また学校内で図書立場が弱く、悩むことも多いのですが、悩みを共有できたのは有意義でした。ブックカバーを作らせたり、ワークショップも実践したいです。図書部が朗読会を放送部とタイアップし、計画中のものをがんばろうと思いました。
- 他校さんのオリエンテーションについて知ることが出来てありがたいでした。感謝！「ヨソはどうしてはるんやろ？」を知る機会が本当に少ないので良かったです。
- グループの先生方は図書の経験年数の浅い方がそろっていたので、いろいろ話を伺うことが出来て、とても参考になりました。また、他の班の発表で「また来たいと思わせる」というテーマについて考察されていた項目は学校に帰ってすぐ実践させていただきます。他の学校の図書館を見たのは初めてだったので、レイアウトなど参考にしたいと思います。
- 今回、初めての研修参加なのでごく不安でした。私自身、経験が浅く、他校さんの利用時間オリエンテーションの内容を聞いてよかったと思います。グループ討議をしている中で話が盛り上がり、「私も一緒だ」と重なる部分があって参考になり、不安が軽くなりました。他校の方々のお仕事・内容を聞いて、参加してよかったと感じました。